

<私たちのありたい未来の地域像>

資源を活かし経済を地域で循環させ多様な人が安心して働き暮らせる地域



脱炭素社会

エネルギーの地産地消
日常生活の脱炭素化

バイオ炭の購入・協力者増
余剰物の再資源化
J-クレジット創出
バイオ炭の用途拡大

循環経済

多様な働き手確保
様々な商品・サービスの地産地消
地域内外のネットワークづくり

分散型自然共生

SDGsへの関心度UP
将来の担い手育成
地域資源の再認識

【期待する成果】

【バイオ炭 製炭事業】

環境事業

・J-クレジット創出
・農業、建築資材開発
・脱炭素パネル展



観光事業

・エコツーリズム
・炭フェス、炭カフェの開催
・キッチンカーによる商品紹介
・バイオ炭商品体験

教育事業

〈ローカルSDGsへの理解を
地学協働学習を通して深める〉
対象者…中高生、地域住民、企業関係者

【事業】

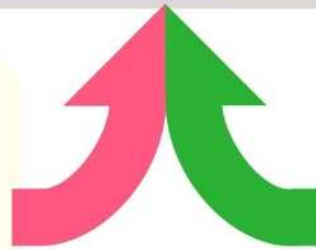
※ステークホルダー

北海道開発局 北海道農政事務所 東京農業大学
林産試験場 美幌町役場 立命館大学
商工会議所 金融機関
農業・林業者 北見NPOサポートセンター

フリースクール 教育委員会
寺子屋 中学・高校
地元NPO 商工会議所

【課題】

○多様な人が働ける場の確保
障がい者・就労条件に制約のある子育て世代
○大量の未利用資源の有効化
間伐材・出荷できない農産物の付加価値化



【資源】

○人的資源
福祉・子育て世代の就労希望者がいる
○物的資源
未利用の木質バイオマス資源
規格外野菜・農業残差物
○情報資源
オホーツク地域の観光地イメージ
北海道ブランドの食材が豊富

